



【初回放送日 2019年7月12日(金)】

みなみの考え

つらい気持ち どう受け止めてほしい？



高橋さん！りおさんのように、ネット上でなやみを打ち明けた子に、わたしたちはどう向き合ったらいいと思いますか？

高橋さん

やっぱりお返事を書くってすごく勇気のいること。それをすごく時間をかけて、この子は今こういう思いなんだろうな、だったらこうなのかなっていうふうに、その人の顔は見えなくても、その人のその文にかけてくれた時間みたいなものは、きっと文のおくにすごく見えるんじゃないかなというふうに思って、本気で考えたお返事っていうのは、何かとどくだなっていうのを、すごい感じました。



さらに、りおさんのように、面と向かってなやみを打ち明けてきた友達には、どう向き合えばいいんでしょうか？

高橋さん

やっぱり、そのお話を受け入れる受け皿をつくっておくっていうことが大事かなって思いますね。それはすごく深いお皿が必要なのかなっていうふうに思いました。すごく勇気を出してお話ししてくださってるわけですから、まずはすべて、うんっていうふうに受け入れるっていうことが大事なんじゃないですかね。



富田先生は、どうお考えですか？

富田さん

今の高橋さんのお話が、まさにそのとおりだと思いますね。あと、それを聞く側に求められることは、もう一つあえて言えば、こういう話を聞くと、やっぱり聞いている側もだんだんしんどくなってくるので、あまりそこで、聞いている側も無理はしすぎないで、でも「いっしょに考えてみようか」というぐらいのしせいを持つっていうことが、大事になるかなと。重い話であればあるほど、2人だけでかかえこまないということも、同時に必要になってくるかなと思います。



ネット上で、または、面と向かって
なやみを打ち明けてきた友達がいたら
あなたなら何ができると思う？
教室のみんなで、話し合ってみてね！

そして、マダ友プロジェクトで、
みんなも「手紙」を書いてみよう！
とどいている手紙に
「返事」も書いてみてネ♪

